

府民の森ほしだ園地探鳥会 (毎月第4土曜日両園地通算第287回)

令和7(2025)年3月22日(土)9:30～14:30頃

日本野鳥の会大阪支部

友田武・神戸徹・新名泰博・吉山 晃・平 軍二 (090-6901-1425)

I 交野の鳥シリーズ(136)ハヤブサ

I-①ほしだ園地ハヤブサの経緯 両園地探鳥会は**2000年1月くろんど園地**、**2月ほしだ園地**と奇数月くろんど園地、偶数月ほしだ園地でスタートした。そんな中、ほしだ園地ではピトンの小屋前の岩場で、**2005年からハヤブサが営巣・子育てを開始**し始めたが、探鳥会では4月は抱卵中、6月は巣立ち後で、幼鳥を観察することが無かった。一方くろんど園地では、カラスザンショウにムギマキが来ることがわかったが、ムギマキの通過するのは10月なので、奇数月の探鳥会では観察できないままであった。

5月探鳥会をほしだ園地にすればハヤブサの幼鳥が探鳥会で観察できること、また10月探鳥会をくろんど園地にすればムギマキを観察できることから、**2018年9月より奇数月ほしだ園地**(←くろんど園地)、**偶数月くろんど園地**(←ほしだ園地)と、探鳥会開催月を入れ替えた。その効果で2018年10月くろんど園地探鳥会でムギマキを、2019年5月ほしだ園地探鳥会で岩棚に並ぶハヤブサのヒナ(下記 I-③)を観察できた。

しかし、ほしだ園地岩棚周辺の樹木繁茂をハヤブサが嫌ったようで、**2020年より営巣しなくなった**こと、しかもコロナ禍で探鳥会中止があり、ハヤブサ繁殖は観察できないままとなった。

2022年に「交野野鳥の会」名で「大阪府中部農と緑の総合事務所」に、ハヤブサが営巣している岩棚付近の雑木を伐採し、更地とすることを申し入れた結果、**22年秋に伐採**してもらいました。

伐採で繁殖してくれると思っていたが、その後2023年～2024年にはハヤブサの営巣準備と思われる行動が見られたものの、結局繁殖行動に入らないままで、今年**2025年も繁殖無し**で終わりそうである。

5月7日にハヤブサ若鳥が来ていたと河村 壽氏が「交野バード」に紹介されたので、I-②に写真で紹介させていただいた。



I-②ハヤブサ(若鳥)5枚

(202500507)河村 壽氏)

- ・今年生まれにしては巣立ちが早すぎる
- ・どこかで採餌したらしく、4時間リラックスしていた
- ・近辺(奈良県)に巣は無い
- ・以上から昨年生まれと思われるが、どこで生まれたか不明。

I-③ ほしだ園地岩棚に4羽のヒナ

(20190519 河村 壽氏)

- ・ほしだ園地で最後に生れたハヤブサヒナ4羽
- ・岩棚に周囲の木の枝が伸びている
この枝を嫌って営巣しなくなったと推定
- ・しかし2022年枝切り後もハヤブサの営巣は無い



Ⅱ 先月(4月26日) くろんど園地結果

月の輪滝入口などでオオルリの囀りを聞くものの、若葉が茂って姿が見えなかったが、園地に入ってようやくオオルリが姿(トータル6羽)を見せた。夏鳥ではセンダイムシクイが13羽と多く、キビタキ(4羽)は帰り道で聞いた。ウグイス(26羽)とソウシチョウ(14羽)と競うように良く鳴いたが、ウグイスが多くほっとした。コマドリが一声、コジュケイの声も聞いたが、キジバト・メジロ・ヤマガラ・シジュウカラ・カワラヒワなどの普通種が1羽ずつにとどまった。トータルは23種と少なかったが、爽やかな日中に鳥たちの歌声を聞きながら、気持ちよく終えることができた。



センダイムシクイ(渡邊信義氏)



オオルリ(渡邊信義氏)

Ⅱ-① オオルリとキビタキの住み分け

平は45年前に枚岡公園でオオルリ・キビタキ見たとき両種はほぼ同じ環境で生息していること、オオルリは谷川に伸ばしている枝先で歌うのに対し、キビタキは木々の葉の中で歌っていてあまり姿を見せない鳥と思っていた。

その後万博公園で鳥を見るようになり、オオルリは4/10～20頃に通過するだけ、しかも観察できる場所は落葉樹林、一方キビタキは4/20～5/末とオオルリよりは遅く渡来するものの期間が長く、常緑樹林の中からさえずりを聞かせてくれる。そして2014年からは繁殖するようになり、7月までも声が聞けることが多くなっている。

先月くろんど園地ではオオルリ6羽、キビタキ4羽を観察した。オオルリはハイキング道の上りの谷筋、落葉樹林に生息していて姿を見ることも出いたが、キビタキは落葉樹林から声が聞こえた。

オオルリは谷川の岩壁や崖の窪みで営巣することから、くろんど園地の探鳥コースの上りで営巣を確認したこともある。一方キビタキは枯れ木の洞などを利用する鳥であるが、先月は万博公園と同じように常緑樹林から声が聞こえたことで、オオルリと棲みわけていることを確認できた(とわかり、嬉しかった)。

Ⅳ 次回探鳥会 2025/6/26 くろんど園地 9:30私市駅前

今月と同じように、大阪支部HPのホームズ様式からお申し込みください。

6月は托卵のためか遅く渡ってくるホトギスの声が楽しめる季節。そして園地内で営巣中のオオルリ・キビタキの囀り、ウグイス・ソウシチョウの競演、シジュウカラ・ヤマガラの巣立ち雛も期待したい。



ソウシチョウ(20250513)河村壽氏

